

2015年3月12日

各位

公益財団法人日本ハンドボール協会  
会長 渡邊 佳英

皆様におかれましては、日頃日本ハンドボール協会の事業にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、早いもので今年ハリオデジャネイロオリンピックアジア予選の年となりました。男子代表は新監督となり、いよいよ予選突破に向けて厳しいトレーニングを開始します。女子代表は日本開催(名古屋)となったアジア予選に向けてホームの強みを活かして悲願を達成すべく邁進して参ります。

2019年の女子世界選手権の日本開催(熊本開催)に立候補し、見事開催権を勝ち取りました。と同時に2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催が決定し、ハンドボール界に取って千載一遇のチャンスがやってきました。もちろん両大会とも開催国枠で男女とも出場することが出来ます。

しかし、この2つの大会での日本チームの活躍なくしては大会の成果を上げることは出来ません。またその後続く世代にも引き継いでいくレガシーを残さなければなりません。

日本ハンドボール協会は、「2019年、熊本で開催される女子世界選手権ではメダル獲得、男子世界選手権では上位入賞。2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、男女ともメダル獲得。」を目標とし、代表のみならずターゲットエイジの更なる強化を推進いたします。

幸い、男女とも日本リーグの若手、ジュニア、ユースに大変有望な選手が沢山います。しっかりした強化計画のもと、下記の通りの新しい取り組みを行い、この選手達を鍛え上げて2019・2020の大会で大活躍させたいと考えております。

#### 目標達成に向けての取り組み

- 1) 国内合宿の充実
- 2) 海外拠点を中心した長期海外合宿および国際大会への参加
- 3) 外国人スタッフの採用
- 4) チームスタッフ充実  
(コーチ、トレーナー、ドクター、分析、庶務等)
- 5) 2019世界選手権、国際大会の国内開催
- 6) 事務スタッフの増強(国際、2019・2020担当等)

それには、現在の日本協会予算枠では賄うことが出来ない現状であります。マーケティング(協賛金)、クラウドファンディング(寄附金)他の活動等に全力で取り組み、国からの補助金・助成金の増額、皆様からの強化支援金を頂きながら、この強化資金を確保したいと考えます。

その対策の一助として「2019・2020 特別強化支援金」をお願いすることとなりました。

何卒改めまして皆様の格別なご理解とご協力の程を宜しくお願い申し上げる次第です。

以上